

平成29年度

# 萌える天北オロロンルート 活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 萌える天北オロロンルート		報告者: 代表 西 大志				報告年月日: 2018/4/20			
ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H29					総括		
		活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号			
景観	愛着と誇りを持てる郷土の景観の保全と創出	風景との出会いの演出	フィルムコミッションから学ぶ新たな観光開発事業(フォトコンテスト作品展示)	苫前町商工会青年部	通年	12人(主催者側)	<p>景観形成についての総括</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年で6年目となるフィルムコミッションから学ぶ新たな観光開発事業はこれまでに集積した画像素材を活用し、SNSによるPR活動を継続しているものの、今後、これらの素材を活かした観光開発が課題となっている。</li> <li>・今年度で4回目となった3ルート連携フォトコンテストでは、過去のフォトコン作品で制作したパネルの活用なども徐々に生まれている。数多くのすばらしい景観素材を収集することができる。他のルートのよさを知る機会にもなっている。</li> <li>・今年度、指定ルートとなった天塩川シーニックバイウェイも加わり、道北ルート連携フォトコンとして実施予定である。</li> <li>・日本道路会議に、道路協力団体活動の地域活動を紹介するパネリストとして参加した。道路協力団体として取り組んだバイウェイカフェの今後の展開などについて示唆に富む意見を聞くことができた。</li> <li>・今年度も、シーニックカフェとして3施設の登録申請を実施した。ルート内のシーニックカフェは、これで9カ所目となり、オロロンスタンプラリーの立ち寄り拠点として展開している。今年度は、カフェ連携を模索し始めるとともに、カフェメンバー有志によるキャンドル活動なども試行した。今後は、どのような連携方法があるか、地域の魅力を向上することができるかについて、議論していく予定である。</li> </ul>		
			送り火フォトコンテストの開催	-	-	-			
			シーニックバイウェイ3ルート連携フォトコンテスト	シーニックバイウェイ3ルート連携フォトコンテスト実行委員会	平成29年7月1日～9月15日(応募期間)	23人(主催者側)/応募者数23人・応募作品数92作品			
			景観診断プロジェクト	-	-	-			
			菜種・ヒマワリクリーンエネルギープロジェクト	-	-	-			
			るもい地域の観光・まちづくりの未来を語る勉強会(6.18石田先生PJ)	萌える天北オロロンルート 6.18石田先生PJ	平成29年6月18日	34名			
			日本道路会議(ルート副代表がパネリストとして参加)	公益社団法人 日本道路協会	平成29年10月31日～11月1日	1名(ルート内)			
			風景街道テーマ別意見交換会(風景街道の意見交換会に参加)	-	-	-			
			シーニックカフェの登録・カフェ連携	萌える天北オロロンルート運営代表者会議	平成29年4月～平成30年3月	8人			
			バイウェイカフェ(道路協力団体の取組)	萌える天北オロロンルート運営代表者会議	平成29年9月9日	10人(主催者側)			
			花とみどりの景観づくり	エゾカンゾウ植栽プロジェクト	-	-		-	
				菜種・ヒマワリクリーンエネルギープロジェクト	-	-		-	
				萌天の森プロジェクト	萌える天北オロロンルート運営代表者会議	平成29年5月～10月		3人(主催者側)	
			愛着と誇りの醸成	景観診断プロジェクト	-	-		-	

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 萌える天北オロロンルート		報告者: 代表 西 大志				報告年月日: 2018/4/20		
ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H29					総括	
		活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号		
食	自然の恩恵である地元食材のブランド化と魅力の発信	地場産品の魅力づけ	ひらめ底建網オーナープロジェクト (食材オーナー制度プロジェクト)	ひらめ底建網オーナーin遠別実行委員会(遠別漁協、遠別町産業振興公社、エフエムもえる)	平成29年6月17日	50人(主催者側) 800人(一般)		<p>食についての総括</p> <p>・今年で10回目を迎えるひらめ底建網オーナープロジェクトは、地元の活動団体が中心となって継続的、発展的な取り組みを実施し、10年目を迎えている。出漁日に実施している主にオーナーを対象としたイベントでは、地域住民や一般参加者も増えつつあり、多数の方の参加を得ており、10周年記念での催しも開催された。当ルートでは、本取り組みの開催に協力し、物販支援や連携フォトコンテストのパネル展示を開催している。今年は、10年の節目として、筑波大学の石田先生をお迎えし、活動状況を紹介するとともに、意見交換を行った。</p> <p>・候補ルートの時から活動していた地域食材を用いた新メニューの企画として、ルート内の食材を具材としたたこ焼き「萌天焼」の開発の3年目にあたり、ひらめオーナーのイベント時に実施した。萌天焼をルート内で広く展開していくためには、ルール作りや普及啓発に向けた検討が必要となっている。</p>
			萌天焼の開発プロジェクト	萌天サポーターズクラブ	平成29年6月17日	20人(主催者側) 100人(一般)		
		新メニューの企画	ひらめ底建網オーナープロジェクト (食材オーナー制度プロジェクト)	ひらめ底建網オーナーin遠別実行委員会(遠別漁協、遠別町産業振興公社、エフエムもえる)	平成29年6月17日	50人(主催者側) 800人(一般)		
			萌天焼の開発プロジェクト	萌天サポーターズクラブ	平成29年6月17日	20人(主催者側) 100人(一般)		
		地域ブランドの構築	ひらめ底建網オーナープロジェクト (食材オーナー制度プロジェクト)	ひらめ底建網オーナーin遠別実行委員会(遠別漁協、遠別町産業振興公社、エフエムもえる)	平成29年6月17日	50人(主催者側) 800人(一般)		
			ワークショップの開催	-	-	-		
			チカホでのシーニックPRイベントにて地域特産物の販売実施	-	-	-		
			萌天焼の開発プロジェクト	萌天サポーターズクラブ	平成29年6月17日	20人(主催者側) 100人(一般)		
			情報発信プロジェクト ⑤ ～萌か留た～	-	-	-		

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 萌える天北オロロンルート		報告者: 代表 西 大志				報告年月日: 2018/4/20		
	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H29					
			活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括
環境保全	地球に優しい「くらしぶり」のお手本づくりと促進	クリーンエネルギーのイメージづくり	菜種・ヒマワリ クリーンエネルギープロ ジェクト	-	-	-	-	環境保全についての総括 ・萌える天の森では、植樹樹木の生長が悪いことと、植樹木の間引きが必要であることから、生長木の移植と新たな苗の植栽活動を平成27年に実施しており、今年度は維持管理と成長の記録を行った。移植木については、移植後も生長が確認されており、継続した観測をしている。課題としては、継続した運営体制の人材、資金確保などがある。 ・天塩川を清流にする会が中心となって実施している天塩川の生態系保全に関する活動について、継続的な活動資金の獲得に向けて、一般の方に地域活動を支援してもらうためのグッズに関する調査研究を実施した。 ・環境保全の取組みについては、ゴミ対策など進められていない活動もあるため、今後の取組みの中で実施を検討したい。
			フォーラム開催プロ ジェクト	-	-	-	-	
			風景街道サミットinあ さま (ルート代表がパネル ディスカッションに参 加)	-	-	-	-	
			萌える天の森プロジェクト	萌える天北オロロン ルート運営代表者会議	平成29年5月～10月	3人(主催者 側)		
		ゴミ対策の取り組み	-	-	-	-		
		身近な生態系の保全・復元	エゾカンゾウ植栽プロ ジェクト	-	-	-	-	
			萌える天の森プロジェクト	萌える天北オロロン ルート運営代表者会議	平成29年5月～10月	3人(主催者 側)		
			天塩イトウシンポジウ ム(共催)	-	-	-	-	
天塩川でつなぐ・ひろが るプロジェクト	萌える天北オロロン ルート運営代表者会議		平成29年8月～平成30 年3月	10人				

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 萌える天北オロロンルート	報告者: 代表 西 大志	報告年月日: 2018/4/20
---------------------	--------------	------------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H29					総括	
			活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号		
レクリエーション	暮らしに根ざしたもてなしによる暖かい交流の魅力づくり	ロングドライブのサポート	景観診断プロジェクト	-	-	-	-	レクリエーションについての総括 ・今年度初めて、身近なアウトドアの紹介に関する取組みとして、留萌開発建設部が開催するサイクルイベントの周知に協力した。 ・レクリエーションの活動については、ルート内のイベント「よりみちの駅」に参加し、シーニックのPR活動を通じて、地域内外の方に情報発信を行う機会を持つことが出来た。 ・苫前町まちづくり企画が主催で実施した流雪溝雪はねボランティアツアーにて、情報発信と活動のサポートを行った。点と点の関係を面的に広げることで、ツアー参加者へのルート内の魅力発信に繋がる機会を持てた。	
			フォーラム開催プロジェクト	-	-	-	-		
			風景街道サミットinあさま (ルート代表がパネルディスカッションに参加)	-	-	-	-		
			萌える天北オロロンルート運営代表者会議	萌える天北オロロンルート運営代表者会議	平成29年5月～10月	3人(主催者側)	-		
			情報発信プロジェクト⑤ ～萌か留た～	-	-	-	-		
	暮らしに根ざしたもてなしによる暖かい交流の魅力づくり	身近なアウトドアの紹介	サイクリングイベントの周知協力活動	留萌開発建設部	平成29年9月9日	5人(ルート内参加)	-		
			各種カルチャー活動による交流	フィルムコミッションから学ぶ新たな観光開発事業(フォトコンテスト作品展示)	苫前町商工会青年部	通年	12人(主催者側)		-
				流雪溝雪はねボランティアツアーin苫前	苫前町まちづくり企画	平成29年2月10日・11日	20人		-
				エゾカンゾウ植栽プロジェクト	-	-	-		-
				菜種・ヒマワリクリーンエネルギープロジェクト	-	-	-		-
よりみちの駅イベントでのシーニックPRイベント	北海道留萌振興局「よりみちの駅」、留萌地域住宅リフォーム推進協議会	平成29年9月10日	5人(ルート内参加)	-					
歴史・文化	先代の暮らしぶりと新たな価値観を将来に伝え楽しむ	歴史資源の保全と活用	ワークショップの開催	-	-	-	歴史・文化についての総括 ・歴史・文化に関する活動としては、フォトコンテストの展示を実施した。留萌地域での暮らしぶりについて、写真を通して伝えることができた。 ・歴史・文化を主眼とした取組み自体は実施していないが、今後、他の活動の拡大などを通して実施できればと考えている。		
			情報発信プロジェクト⑤ ～萌か留た～	-	-	-			
		次世代への歴史伝承	-	-	-	-			
		独自の生活文化の発見	フィルムコミッションから学ぶ新たな観光開発事業(フォトコンテスト作品展示)	苫前町商工会青年部	通年	12人(主催者側)		-	
			送り火フォトコンテストの開催	-	-	-		-	
シーニックバイウェイ3ルート連携フォトコンテスト	シーニックバイウェイ3ルート連携フォトコンテスト実行委員会	平成29年7月1日～9月15日 (応募期間)	23人(主催者側)/応募者数23人・応募作品数92作品	-					

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 萌える天北オロロンルート		報告者: 代表 西 大志				報告年月日: 2018/4/20	
ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H29					総括
		活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	
全体	上記内容全体の方針に関わる活動	情報受発信プロジェクト① ～冊子:Eezo～	地域情報受発信システム実行委員会 留萌観光連盟	平成30年2月発行	25人(主催者側)		<p>地域づくりについての総括</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域情報受発信プロジェクトで展開しているオロロンまっぷを中心に、様々なツールを活用した管内の情報発信の取り組みが、地域の内外に浸透しており、地域づくりの取り組みが深まっている手ごたえを感じている。課題として、継続的な情報発信のための資金の確保などが挙げられる。</li> <li>・様々な活動を規模は変化しつつも継続できていることは、ルート活動を通じた地域づくりに貢献できていると感じている。今後は、新しい取組みも大事だが、今の活動をより向上させることや、他のルートとの連携の強化など、すこしずつ、出来る活動を実践していきたい。</li> </ul>
		情報受発信プロジェクト② ～オロロンマップの活用～オロロンさんほみち	地域情報受発信システム実行委員会 留萌観光連盟	通年	25人(主催者側)		
		情報受発信プロジェクト③ ～道の駅・シーニックカフェスタンプラリー～	萌える天北オロロンルート	平成29年4月29日～10月9日	15人(主催者側) 643人(一般)		
		情報受発信プロジェクト④ ～オロロドライブ情報～	-	-	-		
		情報受発信プロジェクト⑤ ～萌か留た～	-	-	-		
		情報受発信プロジェクト⑥ ～留萌管内観光アンケート～	-	-	-		
その他		フィルムコミッションから学ぶ新たな観光開発事業(SNSを活用したPR活動)	苫前町商工会青年部	通年	12人(主催者側)		



# 萌える天北オロロンルート

Moeru Tempoku Ororon Scenic Byway

活動名：バイウェイカフェ（道路協力団体の取組）

【概要】道路協力団体での収益活動として、船場公園（留萌市）手前の国道沿いでオープンカフェ「バイウェイカフェ」を開催した（平成29年9月9日）。当日は、留萌開発建設部主催のサイクルイベントと連動する形で開催し、集客増に努めた。平成30年度には、カフェで得た収益も活用しながら、清掃・除草活動を実施する予定である。活動の状況について、第32回日本道路会議でのパネルディスカッションにて、活動報告を行った。

【日時】平成29年9月9日 10:00～15:00

【場所】国道231号沿い（留萌市船場公園前）

【主催】萌える天北オロロンルート運営代表者会議

【協力】留萌開発建設部、（一社）シーニックバイウェイ支援センター

【参加人数】活動従事者：10名 一般参加者：50名



カフェの看板と販売の様子



カフェでくつろぐ様子



沿道側から見た活動の様子

# 萌える天北オロロンルート

Moeru Tempoku Ororon Scenic Byway

活動名：天塩川でつなぐ・ひろがるプロジェクト

【概要】天塩川にて自然保護活動を行う活動団体「天塩川を清流にする会」を中心に、「天塩かわまちづくり検討会」などの既存の組織と連携し地域への来訪意識向上に資するべく、天塩川の魅力を発信するグッズの試行、自然保護活動の活動資金の継続化の検討を行った。その際、グッズ製作の試行に向けた事前調査としてルート内外の観光施設等にてアンケートボードを用いた調査を実施し、観光客の志向を把握するとともに、継続的な製作、販売に向けた検討を実施した。検討の際、松浦武四郎の生誕200年に向けた連携を模索するため、松坂市の松浦武四郎記念館にも視察に行った。

【日時】平成29年8月～平成30年3月

【場所】天塩町他管内7市町村、名寄市、稚内市、三重県松坂市

【主催】萌える天北オロロンルート運営代表者会議（担当：NPO法人天塩川を清流にする会）

【連携ルート】天塩川シーニックバイウェイ

【参加人数】活動従事者：10名



活動打合せ（天塩町）



アンケート調査（稚内市）



ライダーイベントでのアンケート調査（天塩町）



# 萌える天北オロロンルート

Moeru Tempoku Ororon Scenic Byway

活動名：シーニックカフェの登録・カフェ連携の推進

【概要】 ルート内の景観のすばらしい場所や飲食店を、シーニックバイウェイ推進協議会で統一的に広報活動を実施している「シーニックカフェ」として登録し、ルート内の景観のよい場所や施設を統一的にPRすることで、ブランド化に繋げることを目的として実施している。平成29年度には、さらに、からくれ（小平町）とティアラ（羽幌町）の2箇所が登録され、ルート内には現在9カ所が存在する。今年度も、道の駅スタンプラリーとコラボし、立ち寄り箇所として連携を図った。よりみちの駅フェスタ（場所：留萌振興局）内でのPR活動を行ったほか、ルート内のシーニックカフェ有志による「キャンドルナイトdeホワイトデーin scenic café」の取り組みが平成30年3月13日、14日の2日間、行われた。

【登録数】 シーニックカフェ9カ所（平成30年3月現在）



よりみちの駅フェスタでのPR展示



シーニックカフェの紹介ボード



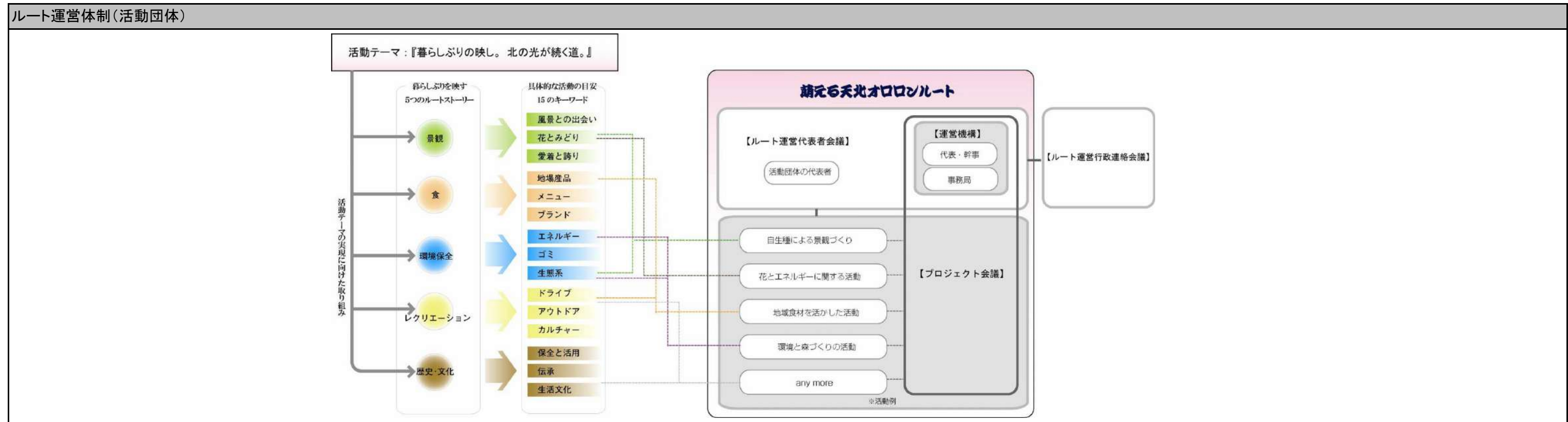
そば&カフェ からくれの店内から望む日本海の夕日  
(H29年度新登録)

3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称: 萌える天北オロロンルート	報告者: 萌える天北オロロンルート 代表 西 大志	報告年月: 2018/4/20
---------------------	---------------------------	-----------------

**活動団体**

増毛町観光協会、増毛漁業協同組合、増毛町商工会、ゆうゆうマーシーの会、豊かな森川海人をつくる増毛実行委員会、新星マリン漁業協同組合、南るもい農業協同組合、留萌商工会議所、社団法人留萌青年会議所、NPO法人留萌観光協会、株式会社エフエムもえる、小平町観光協会連合会、小平町商工会、苫前町観光協会、苫前町商工会、苫前町農業協同組合、北るもい漁業協同組合、羽幌町観光協会、羽幌町商工会、オロロン農業協同組合、初山別村商工会、初山別村観光協会、遠別町観光協会、遠別商工会、遠別漁業協同組合、株式会社遠別産業振興公社、天塩町観光協会、天塩町農業協同組合、天塩商工会、天塩川を清流にする会、幌延町観光協会、幌延町商工会、幌延町農業協同組合、NPO法人サロベツ、地域情報受信システム実行委員会、留萌観光連盟、萌天サポーターズクラブ、苫前町まちづくり企画 **全38団体**



基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
ルート運営代表者会議(総会)			● 6/30										
幹事会	● 4/24											● 3/15	
役員打合せ			● 6/21、6/30	● 7/31		● 9/1	● 10/2	● 11/9		● 1/12	● 2/2		
その他会議等		● 5/12 道北ルート連絡会 議(留萌)						● 11/21 ブロック会議(留 萌)					

ルート名称: 萌える天北オロロンルート	報告者: 留萌開発建設部	報告年月: 2018/4/20
---------------------	--------------	-----------------

基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
行政連絡会議の実施													振興局での主催イベントに 協力し、シーニックPR展など の取組を実施。

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称: 萌える天北オロロンルート	報告者: 留萌開発建設部	報告年月: 2018/4/20
---------------------	--------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成29年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観	愛着と誇りを持てる郷土の景観の保全と創出	「3ルート連携フォトコンテスト」の作品巡回パネル展による広報活動 主催: シーニックバイウェイ3ルート連携フォトコンテスト実行委員会	平成29年9月9日 ～9月15日 平成29年12月8日 ～平成30年1月31日	留萌市、苫前町、羽幌町、遠別町	「3ルート連携フォトコンテスト」応募作品の巡回パネル展を留萌振興局、船場公園、苫前町公民館、「道の駅」ほっと♡はぼろ、富士見で開催し、広報活動に協力した。 今後も、継続してルートの活動を広く周知することが必要。	地域景観の紹介や地域景観づくりの継続した取り組みが定着している。 今後も、効果的なPRや、取り組みを地域全体に展開できる体制作りを進めたい。	
食	自然の恩恵である地元食材のブランド化と魅力の発信	ひらめ底建網オーナープロジェクト(食材オーナー制度プロジェクト)における広報活動 主催: ひらめ底建網オーナーin遠別実行委員会	平成29年6月17日	留萌開発建設部	ひらめ底建網オーナーin遠別において、萌える天北オロロンルートの活動紹介とシーニックバイウェイ北海道の広報やパネル展示、ルート内の食材を活用したご焼き「萌天焼」の販売を行った。 今後も、ルートの活動やシーニックバイウェイ北海道の更なる認知度向上に向けた取り組みが必要。	地域イベントを活用したルートのPR活動が定着している。 継続して認知度向上に向けたPR活動を進めたい。	
レクリエーション	暮らしに根ざしたもてなしによる暖かい交流の魅力づくり	オロロンスノーパラダイス2018でのシーニックPR展示による広報活動 主催: オロロンスノーパラダイスプロジェクト	平成30年2月3日 ～2月4日	北海道留萌振興局、留萌開発建設部	オロロンスノーパラダイス2018において、萌える天北オロロンルートの活動紹介とシーニックバイウェイ北海道の広報やパネル展示、Scenic Byway等の地域を紹介する情報誌を配布した。また、シーニックカフェ等を中心として地域の食材をPRするとともに、販売も行った。 今後も、ルートの活動やシーニックバイウェイ北海道の更なる認知度向上に向けた取り組みが必要。	新たな地域イベントへの参加及び地域とのコミュニケーションにより継続して交流・振興を深めたい。	
		2017留萌振興局よりみちの駅でのシーニックPR展示による広報活動 主催: 留萌振興局	平成29年9月10日	北海道留萌振興局、留萌開発建設部	2017留萌振興局よりみちの駅において、萌える天北オロロンルートの活動紹介とシーニックバイウェイ北海道の広報やパネル展示、地域イベント情報を提供するScenic Byway等の情報誌配布した。また、シーニックカフェ等を中心として地域の食材をPRするとともに、販売も行った。 今後も、ルートの活動やシーニックバイウェイ北海道の更なる認知度向上に向けた取り組みが必要。		
		オロロンラインプレゼンツ 冬のるもい大物産展! inチカホでのシーニックPR展示による広報活動(★) 主催: 留萌振興局	平成29年12月14日 ～12月15日	北海道留萌振興局、留萌開発建設部	オロロンラインプレゼンツ 冬のるもい大物産展! inチカホにおいて、萌える天北オロロンルートの活動紹介とシーニックバイウェイ北海道の広報やフォトコンテスト受賞作品ポストカードを配布した。 今後も、ルートの活動やシーニックバイウェイ北海道の更なる認知度向上に向けた取り組みが必要。		
全体	景観、食、環境保全、レクリエーション、歴史・文化全体の方針に関わる活動	「るもい食楽歩」ホームページのリンク及び情報紙「るもい食楽歩」の配布 発行・編集: 留萌観光連盟	通年	留萌市、増毛町、小平町、苫前町、羽幌町、初山別村、遠別町、天塩町、留萌開発建設部	ルートの活動や地域情報の発信を目的として、「るもい食楽歩」のホームページと留萌開発建設部及び各自治体のホームページをリンクして連携した広報活動を行うとともに、情報紙「るもい食楽歩」を留萌開発建設部、各自治体の庁舎及び道の駅で配布した。	まちづくり、地域づくりをテーマとしたルートの様々な活動は、継続した取り組みにより地域内外に浸透している。 今後も、これらのツールを有効に活用し、ルート活動や地域資源のPR活動を進めたい。	
		「萌える天北オロロンルート: 道の駅スタンプラリー」との連携 主催: 萌える天北オロロンルート 4/29～10/9	平成29年4月29日 ～10月9日	小平町、苫前町、羽幌町、初山別村、遠別町、天塩町、留萌開発建設部	[自治体] 道の駅との連携及び応募者への地域特産品の提供を行い、スタンプラリーの開催に協力した。 [留萌開発] 道の駅との調整や記者発表・PRポスターの作成による広報活動を実施した。		
		萌える天北オロロンルートホームページのリンク	通年	留萌市、増毛町、小平町、苫前町、羽幌町、初山別村、遠別町、天塩町、幌延町、留萌開発建設部	ルートの認知度向上を目的として、ルートのホームページと留萌開発建設部及び各自治体のホームページをリンクして連携した広報活動を行った。		

※表中“★”は、H29新規に実施した活動